# 施策26　　幼児教育の充実

| 作成日： 平成21年7月24日 | 主管課名： 教育委員会学校教育課 | |
|---|---|---|

| № | 施策名称 | 主管課 | 施策の対象 | 施策の対象指標 | 施策の意図 | 施策の成果指標 | 実績値（H17） | 実績値（H18） | 実績値（H19） | 実績値（H20） | 単位 | 目標値（H20） | 目標値（H21） | 目標値（H22） | 取得方法 | 指標取得主管課・係 | 算定式・取得先等 | 施策の20年度目標達成度とその要因 | 施策の22年度目標達成に向けての課題 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 26 | 幼児教育の充実 | 学校教育課 | ①幼稚園児（公立・私立）<br>②保育園児（公立・私立） | ①幼稚園児数<br>②保育園児数 | ①就学に向け、基本的な生活習慣と態度を身につけてもらう | ①子どもが基本的な生活習慣と態度を身につけたと感じる保護者の割合（幼稚園） | 68.1 | 68.4 | (68.4) | 78.3 | % | 成 68.1<br>目 69.0 | 成 68.1<br>目 69.5 | 成 68.1<br>目 70.0 | 幼稚園児（年長組）の保護者を対象としたアンケート | 学校教育課 | ・小学校の生活の中で必要と思われる基本的な生活習慣から8項目を抽出し、就学前の「幼児の生活実態調査」で把握。8項目を①できる、②すこしはできる、③できない、で調査し、①できると答えた割合の平均値を指標とした。<br>衣服の着脱100.0<br>行儀良い食事71.1<br>後始末66.7<br>一人で洗顔77.3<br>タオル絞り68.9<br>ほしいものを我慢する71.1<br>仲良く遊ぶ91.1<br>お知らせを渡す80.0 | ①子どもが基本的な生活習慣と態度を身につけたと感じる幼稚園児の保護者の割合は、78.3%であり平成20年度の目標値を達成している。<br>②子どもが基本的な生活習慣と態度を身につけたと感じる保育園児の保護者の割合は75.3%であり平成20年度の目標値を達成している。<br>⇒幼稚園・保育園での指導と共に家庭において基本的な生活習慣の確立が図られてきている。 | ・幼稚園・保育所での指導と共に家庭において基本的な生活習慣の確立を図り、小学校への円滑な移行が図られるように継続して連携を進めていく必要がある。<br>・幼保一体化施設（認定子ども園等）での運営について、引き続き検討していく必要がある。<br>・幼児期は人間形成の基礎を培う極めて重要な時期であることを踏まえ、集団生活の中で総合的な指導を行い、教育活動及び教育環境の充実を図る必要がある。<br>・就学前教育の充実と教育水準の維持・向上を図るため、幼稚園、保育所の運営支援及び適切な管理運営に努める。幼稚園、保育所と小学校との相互交流を進め、小学校への円滑な移行を図る必要がある。 |
| | | | | | | ②子どもが基本的な生活習慣と態度を身につけたと感じる保護者の割合（保育園） | 72.4 | 69.8 | (69.8) | 75.3 | % | 成 72.4<br>目 73.5 | 成 72.4<br>目 74.0 | 成 72.4<br>目 74.5 | 保育園児（年長組）の保護者を対象としたアンケート | 学校教育課 | ・小学校の生活の中で必要と思われる基本的な生活習慣から8項目を抽出し、就学前の「幼児の生活実態調査」で把握。8項目を①できる、②すこしはできる、③できない、で調査し、①できると答えた割合の平均値指標とする。<br>衣服の着脱97.0<br>行儀良い食事61.2<br>後始末68.4<br>一人で洗顔74.9<br>タオル絞り59.2<br>ほしいものを我慢する71.5<br>仲良く遊ぶ87.7<br>お知らせを渡す82.6 | **施策の振り返り（施策の20年度方針の達成状況）**<br>20年度方針では、予算の水準を抑制しながら施策成果の維持・向上を目指す施策として位置づけされており、その方針を踏まえ、全ての事務事業について事業内容の見直しを図ったが、「保育の実施委託事業」の事業費増（未満児保育の対象者増）により、総コストは前年度より増加した。<br>・私立幼稚園は少子化の影響が大きく、県補助があるものの経営的に厳しい状況にある。そこで、平成16年度より、運営補助金として、園児一人当たり月額450円を500円とし補助している。<br>・平成18年度から同時に市内の幼稚園及び保育園等に入園させている場合の第2子の保育料・給食費を半額にしている。また、第3子（4・5歳）以降については無料としている。 | |

| № | 基本事業名称 | 主管課 | 基本事業の対象 | 基本事業の対象指標 | 基本事業の意図 | 基本事業の成果指標 | 実績値（H17） | 実績値（H18） | 実績値（H19） | 実績値（H20） | 単位 | | | | 取得方法 | 指標取得主管課・係 | 算定式・取得先等 | 基本事業の成果水準とその背景 | 基本事業の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 就学前教育環境の整備・充実 | 学校教育課 | ①幼児（幼稚園児・保育園児）<br>②保護者<br>③保育園<br>④教育関係機関（幼稚園・小学校） | ①幼稚園児数<br>②保育園児数 | ①安全・快適に就学前教育が受けられる | ①待機児童数 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 人 | | | | 業務取得 | 学校教育課 | ・幼稚園（学校教育課）と保育園（保健福祉課）で把握 | ①待機児童数はない。<br>⇒市内の就学や保育を必要とする児童に対応できる幼稚園、保育園の定員は確保されている。 | 主な事務事業は以下のとおり<br>・公立保育所施設管理事業<br>⇒市内の5保育所等の施設管理を行った。<br>・（公立）保育所運営事業<br>⇒市内の5保育所等の運営を行った。<br>・民間保育所運営事業補助<br>⇒市内9箇所の民間保育所の運営に係る経費の一部を補助した。<br>・学校施設整備事業<br>⇒市内の3幼稚園の施設管理を行った。<br>・幼稚園事務事業<br>⇒公立幼稚園の入園募集、入園許可、幼稚園保育料の徴収などの事務を行った。<br>・民間幼稚園教育支援事業<br>⇒第3子（4・5歳児）以降の保育料、給食費の全額補助と同時入所の半額補助などを行った。<br>・私立幼稚園就園奨励事業<br>⇒3才～5才児において、入園料と保育料の減免を実施した。<br>・民間幼稚園運営支援事業<br>⇒在籍児童数1人当たり500円の補助を実施した。 |
| | | | | | | ②園での生活が安全で楽しく過ごせていると感じる保護者の割合（幼稚園、保育園） | - | 99.0 | 未実施（99.0） | 未実施（99.0） | % | | | | 保護者へのアンケート | 学校教育課 | ・「幼児の生活実態調査（10月頃実施）」のなかで「園での生活が安全で楽しく過ごせているか？」①そう思う、②どちらかといえばそう思う、③どちらかといえばそう思わない、④そう思わない、で評価する。①②と答えた割合を評価とする。<br>※教育研究所にて実施 | ②園での生活が安全で楽しく過ごせていると感じる保護者の割合は、平成18年度の数値では78.1%であり、どちらかといえばそう思うを加えると99%になり、概ね楽しく過ごせていると感じている保護者がほとんどである。<br>⇒その要因は、大きな事故等がなく安全で快適な園での生活が行われていること、地域の特性を踏まえた各園の教育(保育)目標を設定し、創意と工夫に満ちた教育(保育)活動を展開しているためと思われる。 | |
| 2 | 就学前教育・指導の充実 | 学校教育課 | ①幼児（幼稚園児・保育園児）<br>②保護者<br>③保育園<br>④教育関係機関（幼稚園・小学校） | ①幼稚園児数<br>②保育園児数 | ①基本的な生活習慣や態度が身につく | ①教育・指導内容に不安がない保護者の割合（幼稚園、保育園） | - | 98.7 | 未実施（98.7） | 未実施（98.7） | % | | | | 保護者へのアンケート | 学校教育課 | ・「幼児の生活実態調査（10月頃実施）」のなかで「教育・指導内容をどう思いますか？」①不安がない、②どちらかといえば不安がない、③どちらかといえば不安がある、④不安がある、で評価する。①②と答えた割合を評価とする。<br>※教育研究所にて実施 | ①教育・指導内容に不安がないと答えた幼稚園、保育園の保護者は平成18年度の数値で73.6%であり、どちらかといえば不安がないと答えた保護者を加えると、98.7%になり、概ね不安がない保護者が多く、信頼された教育・保育活動が推進されている。<br>⇒その要因は、安全・安心な園での生活ができているからだと思われる。また、家庭や地域のニーズの多様化に対応した運営に努めている。 | 主な事務事業は以下のとおり<br>・就学指導個別検査実施事業<br>⇒特別な教育的支援を要する就学児に対して検査を実施<br>・幼児ことばの教室指導員配置事業<br>⇒就学前の指導によりことばの障害の改善を目指す<br>・臨時講師配置事業<br>⇒1人しか教員がいない幼稚園に対し臨時講師の配置を行った。 |